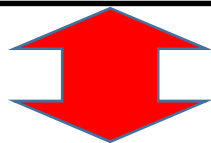


指導の形態	生活単元学習	学年・人数	5年2名、3年2名	
①児童・生徒の実態の確認				
各教科等の指導について (特支CS知的の教科)				
生活面について				
これまで各教科等を合わせた指導で 学んできたこと		・1学期のお楽しみ会(遊びコーナー) 参観日 ◎自分の役割 少しずつ意識できてきた。		
②活用したい資源、教材等				
☐ 校内 (学校行事等)	☐ 季節	☒ 興味・関心	☒ 地域	☐ その他
		遊びコーナー(1学期 にやったお楽しみ会を もとに)	公民館まつりに 行ってみよう!	



③単元で身に付けたい力<自立と社会参加の視点から> ・お楽しみ会などの経験を活かし、見通しをもちながら活動する。 ・みんながおまつりを楽しむことができるようにお店について考えたり工夫したりする。 ・いろいろな友達や教師とかかわり、思いや考えを伝え合いながら活動する。	単元名 1 くみわくわくまつりをしよう
---	-------------------------------

**④目標として取り扱う教科等でめざす姿**

観点 教科等名	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生活	力役割 ・自分たちでお店の運営ができるようになってほしい。 ・お店の担当として必要な言葉に気付いてほしい。	力役割 ・お客さんが楽しめるよう、考えたり工夫したりしてほしい。 ・大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」が言えるようになってほしい。	ウ ・進んで取り組んでほしい。 ・積極的に言葉でやりとりしてほしい。 ・作ることの楽しさを味わってほしい。
国語	ア(ア) ・いろいろな道具を使って、工夫して看板や表示を作ってほしい。	A聞くこと 話すこと ウエオ B書くこと ウ ・お客さんが行きたくなるようなチラシづくり、チラシ配りをしてほしい。 ・おまつりをイメージして表示や看板づくりをしてほしい。	ウ
図工	A表現	A表現	ウ
自立活動	・自分の意見を友達に伝えながら、お店の準備をしてほしい。【人間関係の形成(1)コミュニケーション(2)】(A児) ・自分の気持ちをコントロールしながら、お店の運営をしてほしい。【心理的な安定((1)(2)人間関係の形成((2))】(B児) ・力の入れ具合を調整しながら道具を扱い、お店に必要なものをつくってほしい。【環境の把握(2)身体の動き((3))】(C児) ・友達の意見を聞いて、いいところは取り入れながらお店の準備をしてほしい。【心理的な安定(3)人間関係の形成()】(D児)		

⑤主体的に活動する姿につながる手立て

・毎時間動画で振り返り…友達や自分のよい点などに気づけるように。 ・校内の先生方、友達をおまつりに招待。先生方には、「こうかわってほしい」ことを伝えておく。(朝礼で。簡単な資料?) ・教員は基本、見守り!自分たちで動くことができる手掛かりを用意しておいて、後は待つ。 →1学期のことを思い出せるような写真と動画(導入?) ・地域のおまつりに参加。おまつりのスペシャリストから学ぶ(ipadで子どもたちが動画撮影。インタビューも?)

⑥単元計画

時間	学習活動 手立て	期待する児童生徒の姿	活動の記録	評価の計画			
				教科			その他
				知	思	主	
2時間	〇わくわくまつりの計画を立てる ・内容や招待する人、役割を決める。 ビデオ 写真	1学期にしたこと(お客さんの感想とか、振り返りで話したこととか)を思い出しながら考える。			生活		
2時間	〇お店の準備をする①(ポーリング:A,B とんとんずもう:C,D) ・お店で必要もの考える ・言葉や台詞を考える(せりふカード 必要な人だけ) 「困ったな〜」「どうしよう…」から		A: お店の準備の仕方② → 自分から声を出して	生活 国語			
4時間	〇お客さんが楽しめる工夫がし 1班に1つipad? 9:30学校発→10:00→11:00公民館→11:30学校着 学校についてから、グループごとに発見したことのまとめ ＊水筒、生活科ボード、「はっけんシート」	公民館祭りで、自分から工夫を発見する。 A: お店のの人に自分から声をかけてインタビューも。 B: 聞きたいこと事前にまとめておいてメモを見て。 C: 録画ポイント…時々声がけをきいて。 D: 視点がそれそうときには「はっけんシート」を見る。	D: 「ポーリング」にお店の人の言っていることをメモ。	生活 国語			
4時間	〇お店の準備をする② 「はっけんシート」とまつりの動画	発見したことを自分たちのお店に取り入れる。	A: 1升ビン → ポーリングビンに! B: 「オレンジで明るいからみんな見てくれるかも」 C: 公民館祭りの写真を見ながらうちわづくり。「祭りの思い出がたいい」 D: ポーリング、おかしな形の絵、いっしょに入ろうよ。	図工	図工	図工	自立活動
2時間	〇お店の練習 ・グループごとにお互いの店に行き、感想を伝える。 ○〇先生にもお願いする → 改善してもう1回 伝え合う時間&シンキングタイム	「お客さんの視点」になって。お客さんにとって「分かりやすい」「楽しめる」お店になるよう、考えている。★二つの視点で。	A: 説明かり易く「Cくんが国語と英語の入力がある。		生活 国語		
3時間	〇チラシづくり・チラシ配り 国語「話し方名人かきくけこ」確認！	言葉を意識して。作る時も配る時も。「伝えることをわかりやすく」「はっけん聞こえる声で」	C: 事前に自分が入れる内容のメモづくりを準備してある。		国語	国語	
2時間	〇おまつり本番! ・準備(1時間) ・おまつり(2時間)	教師の言葉がけはほぼなしで。自分たちで運営する。	B: ポーリングのびんをならべるとき、お客さんの動きを見て合わせ。 お客さんの声がきこえる。 D: 「とんとんずまうで遊ぶこと」手順表を自分の目で運営	生活	国語		
1時間	〇振り返り おまつりのビデオ 視点の提示	自分や友達の良いところ、気づき。 ・お客さんの様子から、よかったこと、もっとこうしたいところが良かったところに気づく。	C: 「E先生が、もう良いレシートがあとはいっぱいあって、1人1枚、今度は体育館でやりたい！」			生活 国語	

⑦評価

教科等	児童生徒の姿（教科は、3つの視点を意識しながら、文章で記述）
生活	A: お店の準備の仕方が分かり、Bに自分から声をかけて協力していた。 B: ポーリングのビンを並べるときに、お客さんの動きを見てそれに合わせていた。 C: 「E先生が、「もっと長いレインがあるといいなあ。」と言ってたから、今度は体育館でやろう！」と言っていた。 D: 教師と一緒に作った「とんとんずまうやさんですること」の手順表を確認しながら、Cと一緒にお店の運営ができた。
国語	A: お客さんにわかりやすいように、お店の説明する内容の順番を自分で考えていた。 B: 大きな声ではっきりと、お客さんへのあいさつができた。 C: チラシ配りでは自分なりのメモを作り、伝える内容を意識しながら話していた。 D: お客さんに自分から積極的に声をかけた。
図工	A: 1升ビンをポーリングのビンの形に見立てて、画用紙や紙テープなどの素材を使ってお店の飾りつけを作った。 B: 「オレンジで明るいからみんな見てくれるかも」と言いながら、看板の色塗りをした。 C: 公民館祭りでみた大きな祭りのうちわを、「祭りっぽいから作りたい」と言い、動画を見ながら段ボールで作成した。 D: ポーリングや相撲人形の絵をたくさん描き、切り抜いて教室の入り口にたくさん貼っていた。
自立活動	A: 自分の考えを紙に書き、それを見ながらBに自分の案を伝える姿があった。Bに「いいね」と言ってもらい嬉しそうだった。 B: 気持ちが高ぶって涙が出ることもあったが、その際自分で違う活動に取り掛かるなどして気持ちを切り替えようとした。 C: うちわづくりでは、切るところを太い線で示し、切り始めに切り込みを入れることで、「うまくできた」と自分で満足できる形に切ることができていた。 D: Aが公民館祭りで発見した工夫を「すごい」と言って、お店の準備に取り入れていた。